

教祖140年祭
三年千日の
活動方針

「教祖のひながたを目標に
全教会心定めの達成」

◇教祖御誕生祭4月18日執行◇

227回目の御誕生日に、国の内外から多くの
ようぼく信者が集い、お祝いさせて頂いた。

◇第107回婦人会総会4月19日開催◇

全国各地から約35,000人の会員が参集した。

◇全教一斉ひのきしんデー4月29日終了◇

「成人の旬 一手一つにひのきしん」
をテーマに、国内外の各地で実施された。



大教会のHPがご覧になれます！

月報には掲載されない写真もいっぱいです！

ぜひ一度ご覧下さい♪

網
走
月
報

発行所
天理教網走大教会
布教部出版広報掛
〒093-0073
網走市北3条西6丁目
TEL 0152-43-2227
FAX 0152-44-2227

大教会四月月次祭

大教会4月の月次祭は、12
日午前9時30分から大教会長
祭主のもと、執行された。

大教会長は祭文で、親神様
の御守護に御礼申し上げた後、
「教祖誕生祭・婦人会総会に
向け、一人でも多くの帰参者
の御守護を頂き、おぢが賑
やかになりますようお願い申

神殿講話

小松篤志准役員



神殿講話全文

時が経つのが早いもので、
真柱様より諭達第四号をご発
布を頂いてから二年半が経ち
ました。

教祖百四十年祭の一年目の
年には、本部員先生による巡
教がございまして、その後、
大教会による世話人先生の部
内巡教が始まり三年千日祭

し上げます。更には今月末の
全教一斉ひのきしんデーでは、
日頃お借りしているこの身体
に心から御礼申し上げ、その
喜びを実働にかえ、勇んでひ
のきしんにつとめさせて頂き
ます。」と奏上した。

その後座りづとめ・十二下
りのてをどりが勤められ、参
拝者は共に勇んでみかぐらう
たを唱和した。

活動が始まりました。

年祭活動の大きな行事とし
て、御本部よりようぼく一斉
活動日を五回に分けて全国各
地で一斉に開催するという大き
な行事が開催され、今現在ま
だ三回開催されており、網走
支部といたしましても大勢の
ようぼく信者の方々がこのよ
うぼく一斉活動日に参加され
ております。

三年千日の二年目の年が明
けた元日に、石川県の能登半
島でマグニチュード7の地震
が起きまして、多くの方々が
家を失い被災されたのであり
ます。そして今年の二月から

三月にかけて岩手県の大船渡
で大規模な山火事が起きまし
て二百を超える家屋が全焼を
して、大勢の方々が被災され
ております。

諭達第四号に「親神様は、
こうした人間の心得違いを知
らせようと、身上や事情にし
るしを見せられる。頻発する
自然災害や疫病の世界的流行
も、すべては私たちに心の入
れ替えを促される子供可愛い
親心の現れであり、てびきで
ある。一れつ兄弟姉妹の自覚
に基づき、人びとが互いに立
て合いたすけ合う、陽気ぐら
しの生き方が今こそ求められ
ている」と仰せられておりま
すように、私たちの心得違い
をただそうと親神様が我々人
間に陽気ぐらしをして頂くこ
とと見せられているのだと思わ
せて頂いております。

私は十七歳の時から大教会
で青年づとめをさせて頂いて
おりましたが、一番苦手なこ
とがありまして、それはにを
いがけであります。昔から口
ベタでありましたので人前で
話をする事が苦手でありまし
た。

私たちの青年の時代はひの



きょうだい会委員長
眞壁正教

今年は、教祖百四十年祭三年千日の締めくくりの年であり、残すところ約半年となりました。年祭が終わってもこのお道は続きますし続けなければなりません。



ようき会会長
瀬川定自

今年の特に年祭活動仕上げの年ですので、これを機に活動を再開し活発に動いていきます。是非とも各ようき会の活動に参加して頂き、網走に繋がる者一同、嬉しい心で年祭を迎えることができるように一丸となり実動し、おぢばへ心を繋ぐようにつとめさせて頂きましょう。

これからもようき会活動の上にお力添え頂きますようよろしくお願い致します。



参加者 少年会員21名
育成会員26名

●少年会
3月20日、第9回天理教少年会網走団総会を開催した。祭儀式では栗林大喜さん（旭網・中3卒）が祭主をつとめ祭文を奏上。座りづとめ、よろづよ八首をつとめた。その後、少年会長様のご告辞を大教会長が代読。続けて大教会長からお話しを頂いた。

最後に団長より3名の卒業生会員に贈る言葉と記念品を贈呈し閉会した。



●婦人会
4月17日、15時より詰所二階大広間に於いて、子育て世代とこれから子育てする世代を対象に『みちのだい育み塾』を開催した。

講師には土佐敏太郎（撫養大教会前会長）先生をお迎えし、対象者以外の希望者もお話を聴かせて頂いた。

土佐先生は、おつとめの意味、大切さを若い世代にも分かりやすいようにお話になり、質疑応答にも懇切丁寧にお答え下さった。参加者はおぢばならではの貴重な講話に感激した様子だった。

その後、対象者はお話を元に練り合いをし、各々お話を通して気づいた事、これから



●ようき会通信
網走ようき会では、3月29日に新体制として初めてのイベントを開催した。

大教会三階会議室をお借りし、「けつこう源さん」をスクリーンで上映し鑑賞。その後、お菓子を食べながら談笑。最後に参加者で持ち寄ったプレゼントを景品としてビンゴ大会をさせて頂いた。

次回は7月に陽気セミナーを開催予定です。こぞってご参加ください。▼参加者23名

きょうだい会委員長挨拶

新しい体制のきょうだい会が発足しましたが、日も浅く、何をさせていただけば良いのか手探りの状態です。

大教会長様より、「将来的に各教会の声や思いなどを聞かせてもらい、役員会と両輪となる役割を担っていただける会にしてほしい」とのお話しをいただきました。

今年、教祖百四十年祭三年千日の締めくくりの年であり、残すところ約半年となりました。年祭が終わってもこのお道は続きますし続けなければなりません。

網走大教会部内のきょうだい教会の皆様と共に、これから先へと続く大教会の次の道しるべとなるような歩みを考えていく会になれるように、皆様の思いと力をお貸し下さ

きしんが多くにをいがけに出ることはほとんどありませんでした。にをいがけの代わりにおにぎりデーというのが月に三回八のつく日に市内の信者さん宅へまわらせて頂くことがにをいがけでした。ですので大教会で北見布教の家で合宿をしながら教会長さん方と一緒ににをいがけに出るのですがにをいがけが苦手だった私は家のピンポンを鳴らすのがやっとでした。

そんなにをいがけの苦手を克服をした出来事がありました。それは三十歳の時に、当時の大教会長様より電話があり、「布教一課より連絡が来て布教の家の福岡寮で入寮希望者が一人しかいなく、一人だと閉寮になってしまうようだ。網走で誰かいないかということから、布教の家に行かないか」と言われました。

私は電話口で喜んで布教の家に行かせて頂きますと大教会長様に返事をしておりました。私は布教の家に行くという事よりも九州の福岡へ行けるという事を喜んでいた事を覚えております。

こうして布教の家福岡寮へ行く事になりおぢばへと行かせて頂きました。ちょうどその年は新詰所のふしんが終わって新詰所の竣工式が行われる年でした。

詰所の竣工式も無事に終わりました、いよいよ待ち望んでいた人生初めての九州福岡へ行く事になり、おぢばでの研修会を終えておぢばを出発いたしました。福岡の教務支庁へ着きまして十日間の引継ぎの研修を受けさせて頂いて、いよいよ福岡の地でにをいがけをさせて頂く事になり、西も東も分からないまま最初はにをいがけが苦手だった私は、ただ歩いていただけでした。

ようやく家にまわらせて頂くようになり、教会があったら参拝をさせて頂こうと思っておりましたので、ある教会に参拝をさせて頂きました。その教会は高知大教会の和博分教会というところで、私がこの度布教の家の寮生で北海道の網走から来させて頂きましたと言いましたら、その会長さんが網走に青山聖子さんがおられますよね、昔、小内雄司さんと聖子さんが福岡に住んでいる時によくこの

教会へ参拝に来てくれたんですよ、と言われ私もそれを聞いてびっくりいたしました。福岡教区には七百ヶ所の教会が有ると聞いておりましたので、最初に参拝をさせて頂いた教会がそういうところだとは思いませんでした。私はこの時これは教祖がこの教会へ私を導いて下さったんだと思います。その他にも福岡には誠陽所属の信者さんや、北九州の八幡というところに直轄の徳永さんのお母さんが住んでおられたりと、網走に繋がっている方がこんなに知られる事を知りました。

布教の家一年間の間にとてもおぢばがえりや正月のおせち団参をさせて頂き、おせち団参では、出来たばかりの網走詰所で泊まらせて頂きました。

大教会長様から一年間毎日の実働の報告をするようにと言われておりましたので、一年間かかさずハガキを大教会長様に送っておりました。そして布教の家を卒業記念として一年間のハガキをファイルに入れて私に下さいました。私にとってこのファイルは一

生の宝物であります。布教の家を卒業した後福岡教区の先生に福岡に残って布教をしないかと誘われまして大教会長様に相談をしまして網走に帰ってきなさいと言われまして布教は出来ませんでした。

網走へ戻らせて頂き、青年会の委員になりました。ある時委員長さんより一年間で一万件のにをいがけを心定めをするように言われ、一年間で一万件も無理だよねと思っておりましたが、布教の家の一年間の経験をさせて頂いたお陰で、何とか一万件を達成させて頂くことが出来たのであります。

今年は教祖百四十年祭三年千日三年目の仕上げの年でありまして、真柱様は年頭のあいさつで「三年千日の三年目、締めくくりの年であります。一年しかないとも言えるし、まだ三分の一あるという取り方もできます。思召しに少しでもお応えできるように、心定めの達成にしてもそれぞれの目標にしても、それに一生懸命に取り組むことによって、頑張つてつとめて、この一年

を実りのある年にしていきたい」と述べられております。今年は大教会でも活動目標である論達の六つの実働を十万件の達成を目標に打ち出されておりました今時点でも三万件を超える勢いでできております。皆様方の勢いのある事に私も驚いております網陽といたしましても少しでも目標達成出来るように勇んでいきたいと思っております。

網陽分教会の活動方針といまして、一つは教祖の道具衆としてご恩報じにつとめさせて頂き一人でも多くの方へにをいがけ、おたすけを心がけよう。もう一つは初席者のご守護を頂こうと定めさせて頂いてありますが、なかなか心定めの達成には出来ておりませんが年祭まで後九ヶ月あまりしかありませんので心定め達成の上に勇んでからさせて頂き、少しでも教祖に喜んで頂けるよ歩ませて頂こうと思っております。皆様方もそれぞれの目標の達成の上に勇んでつとめさせて頂きま

ようき会会長挨拶

いますよう宜しくお願い致します。

育成部便り

●少年会

3月20日、第9回天理教少年会網走団総会を開催した。

祭儀式では栗林大喜さん（旭網・中3卒）が祭主をつとめ祭文を奏上。座りづとめ、よろづよ八首をつとめた。その後、少年会長様のご告辞を大教会長が代読。続けて大教会長からお話しを頂いた。

最後に団長より3名の卒業生会員に贈る言葉と記念品を贈呈し閉会した。

▼参加者 少年会員21名
育成会員26名

●婦人会

4月17日、15時より詰所二階大広間に於いて、子育て世代とこれから子育てする世代を対象に『みちのだい育み塾』を開催した。

講師には土佐敏太郎（撫養大教会前会長）先生をお迎えし、対象者以外の希望者もお話を聴かせて頂いた。

土佐先生は、おつとめの意味、大切さを若い世代にも分かりやすいようにお話になり、質疑応答にも懇切丁寧にお答え下さった。参加者はおぢばならではの貴重な講話に感激した様子だった。

その後、対象者はお話を元に練り合いをし、各々お話を通して気づいた事、これから

を实りのある年にしていきたい」と述べられております。今年は大教会でも活動目標である論達の六つの実働を十万件の達成を目標に打ち出されておりました今時点でも三万件を超える勢いでできております。皆様方の勢いのある事に私も驚いております網陽といたしましても少しでも目標達成出来るように勇んでいき

たいと思っております。網陽分教会の活動方針といまして、一つは教祖の道具衆としてご恩報じにつとめさせて頂き一人でも多くの方へにをいがけ、おたすけを心がけよう。もう一つは初席者のご守護を頂こうと定めさせて頂いてありますが、なかなか心定めの達成には出来ておりませんが年祭まで後九ヶ月あまりしかありませんので心定め達成の上に勇んでから

させて頂き、少しでも教祖に喜んで頂けるよ歩ませて頂こうと思っております。皆様方もそれぞれの目標の達成の上に勇んでつとめさせて頂きま

しょう。

心がけたい事等話し、残りの年祭活動を勇んで前向きに進ませて頂ける良い機会となった。

▼参加者24名

心がけたい事等話し、残りの年祭活動を勇んで前向きに進ませて頂ける良い機会となった。

▼参加者24名

ようき会通信

網走ようき会では、3月29日に新体制として初めてのイベントを開催した。

大教会三階会議室をお借りし、「けつこう源さん」をスクリーンで上映し鑑賞。その後、お菓子を食べながら談笑。最後に参加者で持ち寄ったプレゼントを景品としてビンゴ大会をさせて頂いた。

次回は7月に陽気セミナーを開催予定です。こぞってご参加ください。▼参加者23名

トピックス

ようびセミナーに参加して

釧厚 在原 建城

前回の修養科では、先生からの話を聞くだけでしたが、この研修会では、練り合いが多く、自分の思いも聞いてもらえる内容だったので、特に信仰の浅い初めての方でも溶け込みやすいセミナーだと思いました。

直轄 奥 心み子

先生のお話で感動ばかりでした。感謝して、これからも、ふみ子らしくやってみます。三日間本当に有難うございました。

直轄 瀬川 陽一

すばらしい研修会でした。何度も行きたいです。



直轄 瀬川とく江

すべての講義が分かりやすく、改めて色々学ばせて頂き、気付きがありました。修養科に入らせて頂く心定めをしてくれた主人に今は感謝しています。

栗沢 眞壁 元美

八つのほこりの講義が一番心に残りました。たんのうは、心の筋力が必要で、筋力をつけるには、ひのきしんをしていくうちに喜びが生まれ、たんのうできる心になるというお話でした。



立教188年 人のご守護 心定め			
初席者	ようぼく	修養科修了者	教 人
51名	23名	18名	6名
成 果 (4月末現在)			
7名	5名	2名	0名

私は現在、詰所ひのきしん者として詰所に置いて頂いておりますが、大変ありがたい環境にいることに改めて気付きました。心の筋力がつくよう頑張りたいと思います。



四月の「おぢば」は美女で花盛り



特集！ 4月おぢば帰り

教祖誕生祭

ご存命の教祖の227回目のご誕生日である4月18日、中山大亮様祭主の下、教祖誕生祭が執行された。網走大教会に繋がるようばく信者も大勢でお祝いに駆け付けた。午後には北海道教区婦人会の「スマイルプロジェクト」が行われ、参加者は境内地の除草ひのきしんに汗を流した。夕方からは詰所食堂にて親睦会が催され、おでんや揚げたての筍の天ぷらなどが振舞われ、カラオケ熱唱におひねりも飛び出すなど、大いに盛り上がった。

婦人会総会

4月19日、春の晴天に恵まれ、第107回婦人会総会が開催された。今年は近年の平均を大きく上回る3万5千人以上の婦人会員が国内外から参集した。婦人会長様は挨拶の中で

仕上げの年

諭達の実動十万件

年祭当日をうれしい心で迎えよう

実動件数

51,594件

(4月11日現在)

おぢば帰り&万博観光

一緒に行こう 斯道会おぢば帰り 一緒に行こう 大阪・関西万博

万博のテーマ：いのち輝く未来社会のデザイン

2025年5月25日（日曜日）

10,000円くらいで行けます！

<入場料+交通費>

※詰所からの、交通手段をご案内いたします。

■スケジュール

網走詰所出発（07:30）

自由見学+自由昼食

網走詰所帰着（17:30）

～ 5月斯道会別席団参行事 ～

5月25日 11時30分 本部お願いづとめ（観光に参加しない方）

終了後、おさづけの取次ぎ

12時～13時30分 別席受付

5月26日 09時～ 本部5月次祭

13時～14時 別席受付

◇申し込み・お問合せ

教祖140年祭網走おたすけ委員会 委員長 細木善信 090-2072-6130

こどもおぢばがえり

Official Site

2025 7/27-8/3

ありがとう！

夏のおぢば

TENRIKYO SHONENKAI

法隆寺観光& 古民家カフェ

4月17日、おたすけ委員会主催の観光企画、「法隆寺観光と和カフェ」が18名参加のもと行われた。

昼12時にマイクロバスで詰所を出発。法隆寺では、法隆寺観光ガイドの島田正徳さん（瀬川とく江さんの弟）が、場内をくまなく案内して下さり、参加者は世界で最古の木造建築、国宝の数々を真剣に見学していた。

観光後は、近隣の和カフェ「布穀園」でデザートやコーヒーを堪能して観光の疲れを癒し詰所に帰着した。





